

こちら危機管理課お天気相談所

～気象防災アドバイザーによるすぐに役立つ気象情報を月1で配信～

※気象防災アドバイザーとは「地域の気象に精通し、地方公共団体の防災対応を支援することができる人材」として気象庁が委嘱した方です。



Yoshiaki Yano

放射性物質！？ 触れても大丈夫？

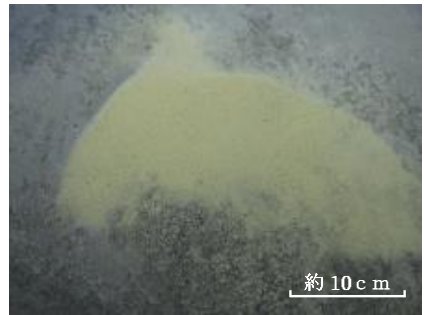
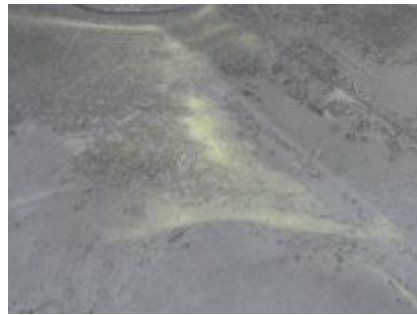
戦後最大の自然災害“東日本大震災”から11年経ちました。改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、復興に携わった皆様のご尽力に敬意を表します。

あの時の地震は凄かった。震度5強は生まれて初めての体験、地震はやはり怖い、“地震、雷、火事、何とか”と一番はじめに来るのも納得できました。

当時、私は気象庁の天気相談所で部外からの電話相談業務などに就いていました。当然の話ですが、震災直後からしばらくは電話が殺到。地震や津波、天気についての問い合わせに加え、福島第1原発の事故に関連して東北地方から首都圏までの風の状況などの問い合わせなども数多くありました。中には地震発生の前に空の色が異常だったとか、見たこともない雲を見た、山道で普段見かけない動物を見た、家の猫がいつもと様子が違っていったとかの情報提供(?)もちらほら。

最も多かったのは、このような問い合わせなどではなく、「見たこともない黄色い粉が降ってきた。原発からの放射性物質ではないの？ 触れても大丈夫なの？」などと不安げな問い合わせが殺到しました。これらに対して「飛散しているという放射性物質は目に見えるものではありません。それは杉などの花粉ですよ。ご安心下さい。」などのやりとりが何度も何度も、1週間ほど続いたと記憶しています。中でも3月24日は花粉についての問い合わせだけでも、実に340件余りもあり、対応した職員達もくたくたでした。残念なことにこの日私はお休みで、貴重な体験を逃がしてしまいました(?)。

放射性物質と花粉の飛散が運悪く重なってしまったようで、放射性物質は黄色というイメージもあるのでしょうか？ 毎年春3月は杉花粉などの



放射性物質？ 旧気象庁(大手町)屋上に降ってきた杉花粉
(2011年3月25日撮影)

飛散量も多く、花粉症が話題になりますが、時には画像のように都心のド真ん中に大量の花粉が降ってくることを初めて知りました。花粉症で苦しんでいる方がこのような画像をご覧になったり、飛散の実態を知ったりしたら悲鳴と共に卒倒してしまうかも・・・。

天気番組などで、空模様とともに花粉の飛散状況についても解説されることがあり、またネットサイトでもお天気と花粉の情報が並んで表示されることもあります。このようなことから、春になると気象庁天気相談所にも花粉についての電話がありますが、気象庁・気象台は、気象現象を業務の対象としており、花粉やPM2.5の大気汚染(物質)などについては、これらを運ぶ風などの観測・予報で支援をしていますが、飛散(物)そのものについては業務の対象になっていません。そこでお勧めするのが、環境省の花粉観測システム(愛称:「はなこさん」)や「東京都の花粉情報」、PM2.5であればNHK総合テレビのデータ放送での「PM2.5大気汚染予測」です。ご利用下さい。